

平成28年1月15日

各 位

会 社 名 株式会社新東京グループ
(コード番号 6066 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 吉野勝秀
問合せ先 取締役管理部長 小野澤歩
T E L 047-383-7001
U R L www.mr-shintokyo.co.jp

平成28年5月期中間連結会計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成27年10月15日に公表いたしました、平成28年5月期中間連結会計期間(平成27年6月1日～平成27年11月30日)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。下記のとおり、当社グループ通期連結会計期間の経営成績は、当初の業績予想を若干下回る結果となりました。しかしながら差異は軽微であり、またエコロジスタ柏工場の再開に向け着々と準備を進めていることを鑑み、通期の業績見通しに変更はございません。

当社グループは、循環型社会の担い手としての責務を果たしつつ成長し続けることが重要と考えております。株主利益の最大化のため、引き続き業務に邁進してまいります。

記

1. 中間期連結会計期間業績予想と実績値との差異

(1) 平成28年5月期中間連結会計期間業績予想数値と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,945	百万円 12	百万円 △12	百万円 △82	円 銭 △16.53
今回実績 (B)	1,944	3	△21	△97	△19.66
増減額 (B-A)	△1	△9	△9	△15	
増減率 (%)	0.0	△75.0	—	—	
(ご参考) 前期中間期実績 (平成27年5月期中間期)	2,463	7	△20	△31	△6.44

(2) 差異の生じた理由

営業利益において差異が生じた主な理由といたしましては、第2四半期において、戦略投資事業における投資勘定の精算損11百万円を売上高のマイナスとして計上したことによるものです。それ以外につきましては、概ね事業計画どおりに進展いたしました。

(3) 通期連結業績について

前述いたしましたとおり、業績の差異の規模につきましては軽微な範囲であり、主力事業である環境プロデュース事業につきましても堅調に推移していることから、平成28年5月期の通期の業績見通しの売上高5,000百万円、営業利益200百万円、経常利益150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円に変更はございません。

以上